



気象庁発表 全国1か月予報(平成30年1月25日発表)

- 全国的に寒気が流れ込みやすく、向こう1か月の気温は低いでしょう。特に期間の前半は、西日本と沖縄・奄美では気温がかなり低く、西日本日本海側では降雪量がかなり多くなる可能性があります。
- 冬型の気圧配置が強まりやすいため、北・東・西日本の日本海側は降水量・降雪量が多く日照時間が少ない見込みです。太平洋側は降水量が平年並か少なく、北・東日本では日照時間が平年並か多いでしょう。
- 沖縄・奄美は寒気の影響を受けやすく、降水量・日照時間が平年並か少ない見込みです。

(1/31~2/28まで)



## 秋田自動車道 平尾鳥川橋 気象観測局 BS計更新

**秋**田自動車道は、岩手県北上市の北上JCTから秋田県秋田市を經由して秋田県鹿角郡小坂町の小坂JCTに至る高速道路で、210kmが開通しています。

高速道路の気象観測設備は、強風や大雨、濃霧などの気象条件による速度規制及び通行規制や通行止め判断などドライバーの安全な走行につなげるために欠かせない設備です。

平成25年に東日本高速道路(株)東北支社/秋田管理事務所管内の平尾鳥川橋気象観測設備を更新し、視程計は既設を使用していましたが、昨年11月、この既設の視程計の更新作業を行いました。(担当:NEI公共交通グループ)

〔更新機器〕

BS計(投受光部).....NBS100S

本装置は、大気中へ赤外光を照射し、エアロゾル粒子(大気中の浮遊粒子/霧粒子、雪等)に当たった後方散乱光を受光して、その光量により、視程障害の検知を行うものです。

- 投受光部一体型のコンパクト設計
- 日本全国の高速道路で採用
- 道路気象の視程観測



気象集合柱

BS計(投受光部)

気象観測架

仕様

測定方式	後方散乱型(Back Scatter Type)連続光変調方式
測定範囲	0~100%(視程換算30m~1000m MOR/気象光学距離)
測定精度	±5%F.S
発光素子	赤外発光ダイオード(LED)
受光素子	シリコンPINフォトダイオード